

横山ゆずり作 「ロミオに挑戦！」

(効果音) (教室のガヤ)

小池法子 静かに！ 静かにしてください。文化祭の時のクラスの出し物について、何か意見がある人！

高橋克也 そんなカッたるいこと、やめようぜ。委員長、適当に決めとけよ。

法子 まじめに考えて。クラス全体で参加するんだから。

ナレーション ここは青春中学2年5組。学級委員長の小池法子が声を張り上げても、出し物はなかなか決まりません。

法子 意見のある人は手を挙げて言ってください。

女子 はーい、劇がいいと思います。

一同 え～～？

女子 だってさ、劇なら、出演者だけじゃなくて、大道具とか照明とか裏方の仕事もあるから、全員で参加できるでしょ？

男子 (口々に)「冗談じゃねーよ」「だれが出んだよ」etc.

法子 静かにしてよ、高橋君たち。ほかにちゃんとした意見がないなら、5組の出し物は劇ということになります。では、どんな劇がいいか考えてください。

(効果音) (クラスのガヤ)

女子 「グリース」は？ カッコいいじゃない。

男子 バカ。踊れるやついるかよ。

女子 そっか…。

男子 それじゃ「ドラえもん」でもやろうぜ。

高橋 そんなダセーの、できっかよ。なー？

法子 高橋、うるさい！

高橋 おっかねー。

法子 ふざけないで、意見言って。

女子 はい。「ロミオとジュリエット」は？ ちょっと古臭いけど、今っぽく変えてさ。それで、ジュリエット役は、演劇部の栗原さんがいいと思います。

生徒 (口々に)「賛成」「いいです」「なんでもいいや」etc.

法子 本当にいいわけ？ あとで文句言わないでよ。それじゃ「ロミオとジュリエット」ね。主役に栗原さんという推薦がありましたけど、栗原さん、いい？

栗原礼子 え、わたし？ わたしなんか主役に向いてないと思うけど…。美人じゃないし、そんなにうまくもないし…。でも… やっちゃう！

(効果音) (生徒拍手)

法子 じゃ次はロミオだけど。

生徒 (口々に)「大月君がいいです」「ふざけんなよ」「じゃ金子」「おれ、やだよ」「宮坂やれよ」「冗談！」

法子 決まないと困るんですけど。

克也 はい。

法子 はい、高橋君。

克也 佐久間君がいいと思います。

生徒 (口々に)ざわめき。「え、佐久間?」「佐久間君?」

法子 高橋、あんた本気で言ってんの?

克也 なんだよ、佐久間じゃ悪いのかよ。

法子 悪くはないけど…。(佐久間に)佐久間君、どうですか? できますか?

佐久間実 え? おれ、えっと、やっぱ、ちよつと…。

生徒 (野次)はつきり言えよ!

実 おれ、あの、劇なんか、やったこと、ないし…。

克也 そんなの、理由になっかよ。多数決しようぜ、多数決。

法子 そ、それじゃ多数決採ります。ロミオ役に金子君がいいと思う人。

生徒 ……。

法子 宮坂君がいいと思う人。

生徒 ……。

法子 じゃ、佐久間君がいいと思う人。

生徒 (口々に)「はい!」「決定!」(ガヤ)

ナレーション ホームルームでモメた末、文化祭の出し物については、何とか一件落ち着いたかに見えたのですが――。

法子 佐久間君。

実 あ、小池さん。

法子 「あ」じゃないわよ。大丈夫なの? 主役なんか引き受けちゃって。

実 うん、困ってるんだ。やっぱ、おれ、そんなことムリだから。

法子 だったらホームルームの時、はつきり断ればよかったのに。

実 そうだよな。おれ、やっぱ…。

礼子 (遠くから近づいて)佐久間くーん、劇の練習、木曜日からだって。佐久間君がロミオなんてちよつと意外だけど、ま、頑張ろうね。じゃね。

実 (力なく)う、うん。

法子 もう、佐久間君たら。とにかく、決まったからには責任をもってしっかりやっつよ。

実 そ、そんな、小池さん。(モノローグ)困ったなあ。劇なんて、しかも主役なんておれにできっこない。みんなだって分かってるはずじゃないか。人前に出ただけで話せなくなっちゃうおれなんかに。チキショー。やっぱ、断ろう。でも、今更

言にくいし。ああ、マイったなあ。

ナレーション …と、こんな具合で、なんとも頼りないロミオ君ですが、さてどうということになりますやら。

(音楽) (ブリッジ)

演出係 それじゃもう一度、2幕の第2場からな。はい、スタート！

ジュリエット(礼子) ああ、ロミオ、ロミオ！ あなたはなぜロミオなの？ どうか私のために、あなたの家を、モンタギューというお名前を、お捨てになって！

ロミオ(実) (ボンボンと)おお、光り輝く天使、僕の太陽よ。

ジュリエット 優しい私のロミオ、私のことをどれくらい愛してくださるの？ ねえ、正直におっしゃって。

ロミオ ジュ、ジュリエット。あなたの、その星のようなひとみさえあれば、どんなことも恐れない。ぼ、僕は、ち…誓います。この木々のこずえを白銀色に染めている、あの美しい月にかけて。

演出係 ストップ、ストップ！ 佐久間、お前なあ、もう少しなんとかなんないのかよ。

実 …ごめん。

演出係 「うまくやれ」とは言わねえから、せめてもうちっと、デカイ声出せよ。もう1回。

ジュリエット 優しい私のロミオ、私のことをどれくらい愛してくださるの？ ねえ、正直におっしゃって。

ロミオ (声を張り上げ、棒読みで)ジュリエット。あなたの、その星のようなひとみさえあれば、どんなことも…。

ジュリエット (吹き出し笑い)

演出係 おい、ジュリエット、笑うなよ。(と言いつつ、自分も笑う)

礼子 (笑いを必死にこらえつつ)だって、佐久間君の言い方…。

生徒 (忍び笑い)

実 おれ、やっぱムリだよ。降りるよ。

演出係 ちょっと待てよ。笑ったのは悪かったけどさ。

実 できないもんはできないんだよ。

生徒 「なんだよ」「どうしたの？」

克也 お、佐久間、泣きそうだけ。

生徒 「ロミオ様、泣かないで」(口々にからかう)

法子 ちょっと、あんたたち、やめなさいよ。

克也 なんだよ、小池、かばうのかよ。

生徒 (はやし立てる)

法子 いい加減にして！

生徒 ……(静まる)

法子 みんな、あんまりじゃない。佐久間君が気が弱いのが知ってて、わざと押し付け

たくせに。からかって喜んでるなんて最低よ。それに佐久間君、あんたもあんたよ。男でしょ！ はっきりしたらどうなの？ あんたはできないんじゃない、やろうっていう努力してないだけじゃない。こんないい加減な出し物なら、やらないほうがマシよ。わたし、参加取り消してくる。

- (効果音) (「ガラガラ」と戸を開け、法子出ていく)
- 生徒 (口々に)「委員長、本気で怒っちゃったぜ」「どうすんの？」「知らねえぞ」(ギャ)
- 実 おれのせいだ。おれのせいで、クラスの出し物がダメになっちまう。
- (音楽) (ブリッジ)
- ナレーション その日、佐久間君は重い足取りで、委員長の小池法子の家を訪ねました。さっきの彼女の言葉が耳に残り、そうせずにはいられなかったのです。
- 法子の兄 あの、うちに何かご用ですか？
- 実 あ、おれ、いや、僕、青春中学の。
- 兄 ああ、法子のお友達ですか。いつも妹がお世話になってます。
- 実 家、あの、委員長… いや、小池さんは…。
- 兄 あいにくまだなんですよ。なんでも、ここんとこ毎日、劇の練習とかでね。君は劇のほうはいいの？
- 実 それが実は、主役にされて…。
- 兄 ああ、じゃ、君が佐久間君か。妹からお名前は聞いてましたよ。あいつは気が強いから、学校でもキツイこと言ってるんでしょう？
- 実 ええ、まあ…。いや、そんなことないですけど。
- 兄 (笑う)いいんですよ。クラスの話なんかもよくしてくれてね。(FO)
- ナレーション スポーツマンタイプで気さくな法子の兄の話に、佐久間君はいつしか引き込まれていました。
- 兄 よかったら上がって待っててください。さあ。
- ナレーション そう言って招く法子の兄の足を見て、佐久間君はハッとしました。右足を引きずるようにして歩くのです。
- 兄 どうしたの？ あ、足？ いや実はね、サッカーやってて無理な練習でアキレス腱切っちゃってね。これでも全日本目指してたんですよ。その時はショックでね。もう目の前が真っ暗だった。今は、それも神が僕に与えられた試練だった、って思えるけどね。
- 実 神が…？
- 兄 ああ。僕はクリスチャンなんですけどね。足がこんなになって、自分という人間がいかに弱いものか、身に染みてね。それで、聖書にある「わたしの力は弱さのうちに完全に現れる」という神の言葉が、初めて実感できたんだ。
- 実 「弱さのうちに」？ そんな。あなたはケガにもくじけず頑張ってる。おれなんか

から見れば、うんと強い人間ですよ。

兄 そんなことないさ。だけど、もしそう見えるとしたら、それは、自分の弱さを知って、神にすべてを任せてるからかな。自分が弱い時こそ、神が強くして下さる」と信じてね。

実 「神が、弱い時にこそ、強くして下さる」…？

兄 ああ、だから…。

法子 ただいま。…あら、佐久間君、どうしたの、こんなところで？

実 (モノローグ)それが本当なら、おれみたいな人間でも、もしかしたら…。(法子の兄に)お兄さん、ありがとうございました。おれ、やってみます。さよなら。

兄 ああ、頑張れよ。またおいで！

法子 どうなってんの？

兄 (笑い)法子、「ロミオとジュリエット」、案外うまくいくかもしれないぞ。

法子 え、なんなの、一体？ ねえ。

兄 (大きく笑い)

ナレーション それからの佐久間君の練習に熱が入ったことは、もうお分かりですね？ 確かに、相変わらずの大根役者ではありましたが、それなりに、一生懸命やる姿がかえってウケてしまいまして、晴れの舞台では、全校生徒の大爆笑のうちに、成功を収めました。ただし、シリアスなシェイクスピアの悲劇からは、程遠い雰囲気でしたけれどもね——。

<完>